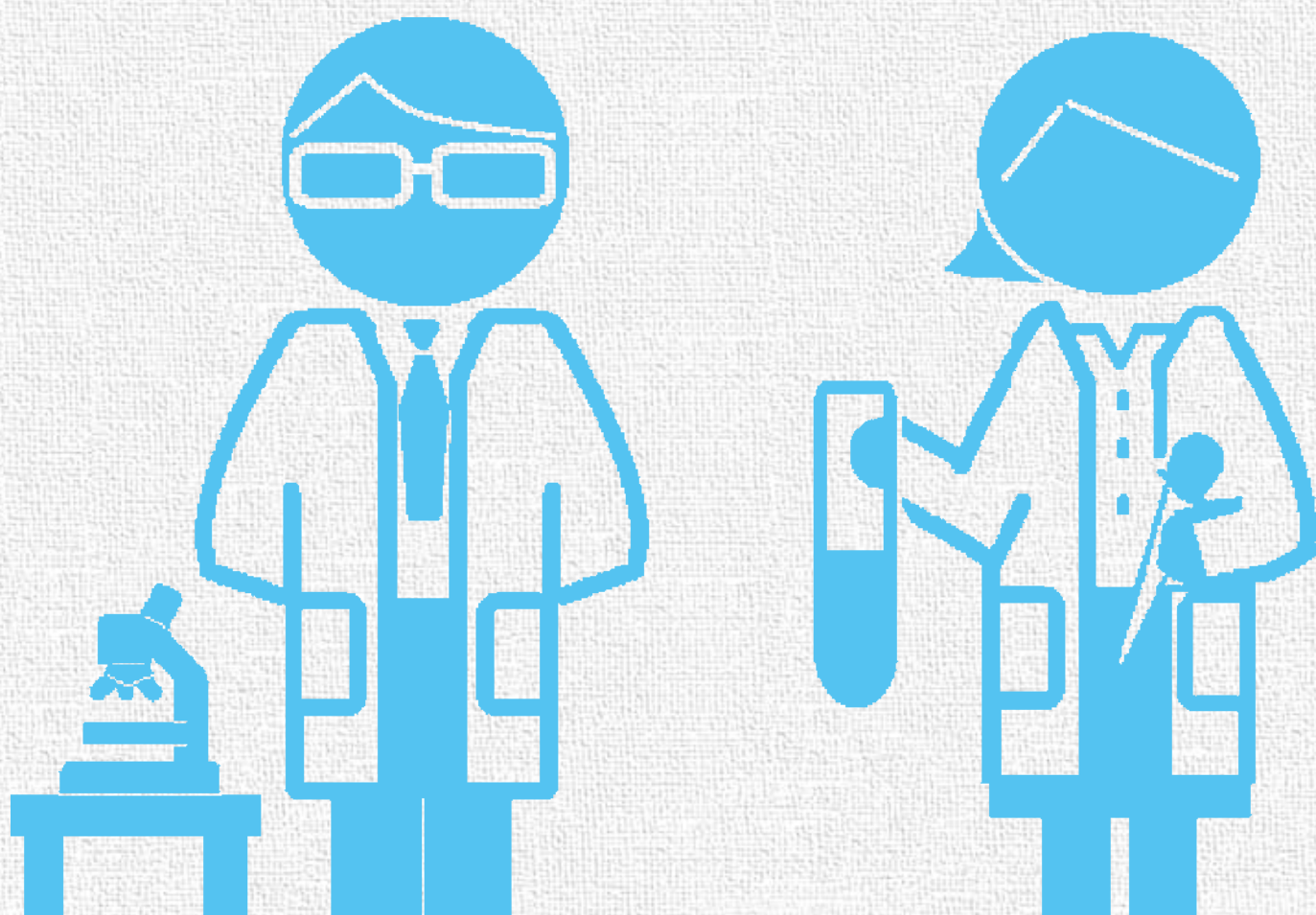


高校生のための

九州大学

医学部 生命科学科紹介

2020



「医学部において 生命科学を学ぶという選択」

九州大学医学部生命科学科長

伊藤 隆司



九州大学医学部生命科学科は、医学の素養を備えた生命科学者を育成することを目的に、2007年に設置されました。初期の卒業生達は、既に大学院を修了して学位を取得し、国内外の大学や研究所などで研究職に就いて、生命科学の第一線で活躍を始めています。

一言で生命科学と言っても、その対象は多岐にわたります。内容も基礎的なものから応用に近いものまで実に様々です。今日では、理系のほぼ全学部に生命科学関連の学科が存在すると言っても過言ではありません。それでは、医学部にある当学科の特徴は一体どこにあるのでしょうか？それは、ヒトという生物種に的を絞って、その正常な状態と病的な状態について多角的に系統的に学ぶという点です。当学科の学生には、将来医師になる医学科の学生と机を並べて、同一カリキュラムで徹底的にヒトの生命科学である基礎医学を学んで貰います。そうすることによって初めて、他学部では身に付けることが難しい「ヒトを個体として把握する独特のセンス」を育むことができるからです。その一方で「最先端の生命科学の研究現場」を早期から経験して貰うのも当学科のもう一つの大きな特徴です。この2つの教育方針を軸にして、医学の素養と研究能力を兼ね備えた人材を育成し、基礎医学の発展に貢献するのが当学科の使命です。

基礎医学とは、生命現象やその不調である疾患の仕組みを解き明かすことによって、未来の医療の基礎を築く学問です。基礎医学は、目の前で病に苦しむ人に対しては殆ど無力ですが、未来の患者を何億人も救うことにつながります。ですから、一人でも多くの若者に基礎医学を志して欲しいと思います。基礎医学はヒトの生命科学です。生命科学における本質的な発見は、医学

的応用・医療につながらなくても、それ自体が我々の世界観を変えるだけのインパクトを持ち得るものです。その意味で生命科学は一種の文化であり、その重要性は今後ますます多くの分野で高まってゆくことでしょう。生命に対する強い興味と主体的に学ぶ意欲を兼ね備えた皆さんが、他にはないユニークな形で生命科学を学べる当学科の門を叩き、互いに切磋琢磨しながら、大きく羽ばたいて行ってくださることを願っています。

生命科学科に興味がある方は、下記のURLに示しますウェブサイトをご覧ください。

生命科学科ホームページ

<http://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/>



受験生向けサイト

<http://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/index.html>



沿革／History —おもな年表—

- 明治 36 年 4月 1日 京都帝国大学福岡医科大学開設
- 〃 44 年 4月 1日 京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となる
- 大正 8 年 4月 1日 九州帝国大学医科大学は九州帝国大学医学部となる
- 昭和 3 年 10月 24日 創立 25 周年記念祝典挙行
- 〃 22 年 10月 1日 九州帝国大学医学部は九州大学医学部となる
- 〃 28 年 5月 3日 医学部創立 50 周年記念式典挙行
- 〃 30 年 4月 1日 九州大学大学院医学研究科設置
- 〃 48 年 11月 24日 創立 70 周年記念式典挙行
- 〃 53 年 11月 25日 創立 75 周年記念式典挙行
- 〃 58 年 11月 5日 創立 80 周年記念式典挙行
- 〃 61 年 4月 1日 医学研究科を医学系研究科に拡充改組、分子医学系専攻博士課程及び分子生命科学系専攻博士課程（後期3年の課程のみの博士課程）増設
- 平成 12 年 4月 1日 医学系研究科を廃止し、医学系学府（大学院教育組織）及び医学研究院（大学院研究組織）を設置
- 〃 15 年 3月 8日 創立 100 周年記念式典挙行
- 〃 15 年 4月 1日 医学研究院の8部門を基礎医学部門、先端医療医学部門、臨床医学部門、分子生命科学系部門及び医学教育学部門の5部門に、23 講座を 11 講座に再編
- 大学院医学系学府に医科学専攻（修士課程）が設置された
- 医学研究院附属統合教育研究実習センターを廃止し、全学共同教育研究施設として医療系統合教育研究センターを設置
- 大学院システム生命科学府の設置に伴い、大学院医学系学府分子生命科学系専攻は、同専攻学生が在学する間存続することとなった
- 学校教育法の改正により、大学院医学系学府医療経営・管理学専攻修士課程（専門大学院）は、同（専門職大学院）となる
- 〃 16 年 4月 1日 九州大学は国立大学法人九州大学が設置する大学となった
- 〃 19 年 4月 1日 医学部に生命科学科を設置
- 大学院医学系学府に保健学専攻（修士課程）を設置
- 〃 20 年 4月 1日 大学院医学系学府博士課程を1専攻に再編
- 〃 21 年 4月 1日 大学院医学系学府に保健学専攻（博士後期課程）を設置
- 〃 24 年 4月 1日 医学研究院に応用幹細胞医科学部門設置
- 同部門に応用幹細胞医科学講座設置

医学部生命科学科案内

医学部生命科学科では、ヒトならびに様々なモデル動物を対象とした次世代の生命医科学研究と医学教育を担う人材を育成し、世界に向けて輩出することを目標としています。そのために、本学科では多様な生命活動とその分子メカニズムに興味を持ち、未知の領域を探求する旺盛な好奇心と柔軟な思考力をもつ学生を歓迎します。同時に、国際的に活躍するには高い語学力が求められます。研究のみならず語学力の向上に向け、意欲的に取り組む学生を歓迎します。

教育理念（教育理念・目標、育成する人材等）

医学部生命科学科に入学した学生は、最初に生物学と医学の幅広い基礎的知識を修得することが求められます。その後、生命医科学の最新の知識の修得を可能とするプログラムが準備されています。このような教育プログラムによって「幅広い知識と高度な専門的能力を備えた人材」、「課題発掘ならびに問題解決能力を備えた人材」、「生命医科学の研究分野でリーダーシップを発揮できる人材」、「国際的視野に立ち基礎医学教育を担う人材」を育成したいと考えています。

教育指導体制

生命科学科ならびに医学科教員が本学科の教育プログラム全般を担当します。また、必要に応じて校内の他部局の教員や他大学の教員が本学科の教育に参加します。各学年には担任を置き、個々の学生からの相談に対応します。

教育プログラムの特色・内容

生命科学科では、1、2年次において生物学や医学の基礎知識を修得するとともに、種々の実習科目において基本的な実験操作を修得します。さらに、高年次においては分子細胞生物学、高次機能制御学、生体情報科学、臨床医学等の講義（下記のキーワードを参照のこと）を通じ、最新の研究に関する知識を修得します。また、3年次に設けられた研究室配属ならびに4年次に取組む生命科学特別研究では、希望する研究室に配属され、教員の個別指導のもとに研究を行います。生命科学特別研究では、学生一人ひとりにテーマを設定し、取組んだ成果をまとめて卒業論文を作成しますが、この過程で研究を行う上で必要な基礎的能力を身につけることができます。

国際的に活躍する人材を養成するためには、高い英語力が不可欠です。そこで、英語教育を重視したカリキュラムを準備しています。英語論文の読解だけでなく、コミュニケーション能力の修得に向け、指導を行います。

1. 分子細胞生物学：

生化学、細胞生物学、ゲノム医科学、構造生物学、微生物学

2. 高次機能制御学：

免疫学、分子薬理学、脳・神経機能学、分子病理学、予防医学、分子疫学、発生再生医学、遺伝子・細胞療法学

3. 生体情報科学：

情報生物学、遺伝情報解析学

4. 臨床医学：

脳神経・運動器概論、循環器概論、呼吸器・造血器概論、腎・泌尿生殖器概論、周産期・成長発達医学概論、アレルギー・膠原病・感染症概論、消化器概論、心身医学・精神医学概論、内分泌・代謝・老化概論、感覚器・皮膚概論

求める学生像

生命科学科では以下の学生を求める。

ヒトを含む様々な生物の生命現象に興味を持ち、生命医科学関連領域の勉学と研究に情熱をもって臨む志の高い学生を求める。本学科では将来の生命医科学研究と医学教育を担う多数の人材を輩出するため、基礎的講義を土台に最先端の生命医科学研究を行うまでの教育プログラムを準備している。このような講義ならびに研究内容を理解するには、高校において理系科目(数学、理科(生物、化学、物理))の履修を通じ、自然科学の基礎知識を習得するとともに、文系科目(国語、英語、社会)も幅広く履修することが求められる。また、論理的な思考に基づいて、口頭および文章で論理的な説明を行う能力を備えていることが求められる。

求める学生像と学力3要素との関係

①知識・技能:

高等学校などにおける基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。加えて、生命医科学研究における知識・技能の習得ができる基礎的な能力。

②思考力・判断力・表現力などの能力:

論理的・多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。

生命医科学に関する知識を習得し、研究に応用するための努力を惜しまない姿勢。

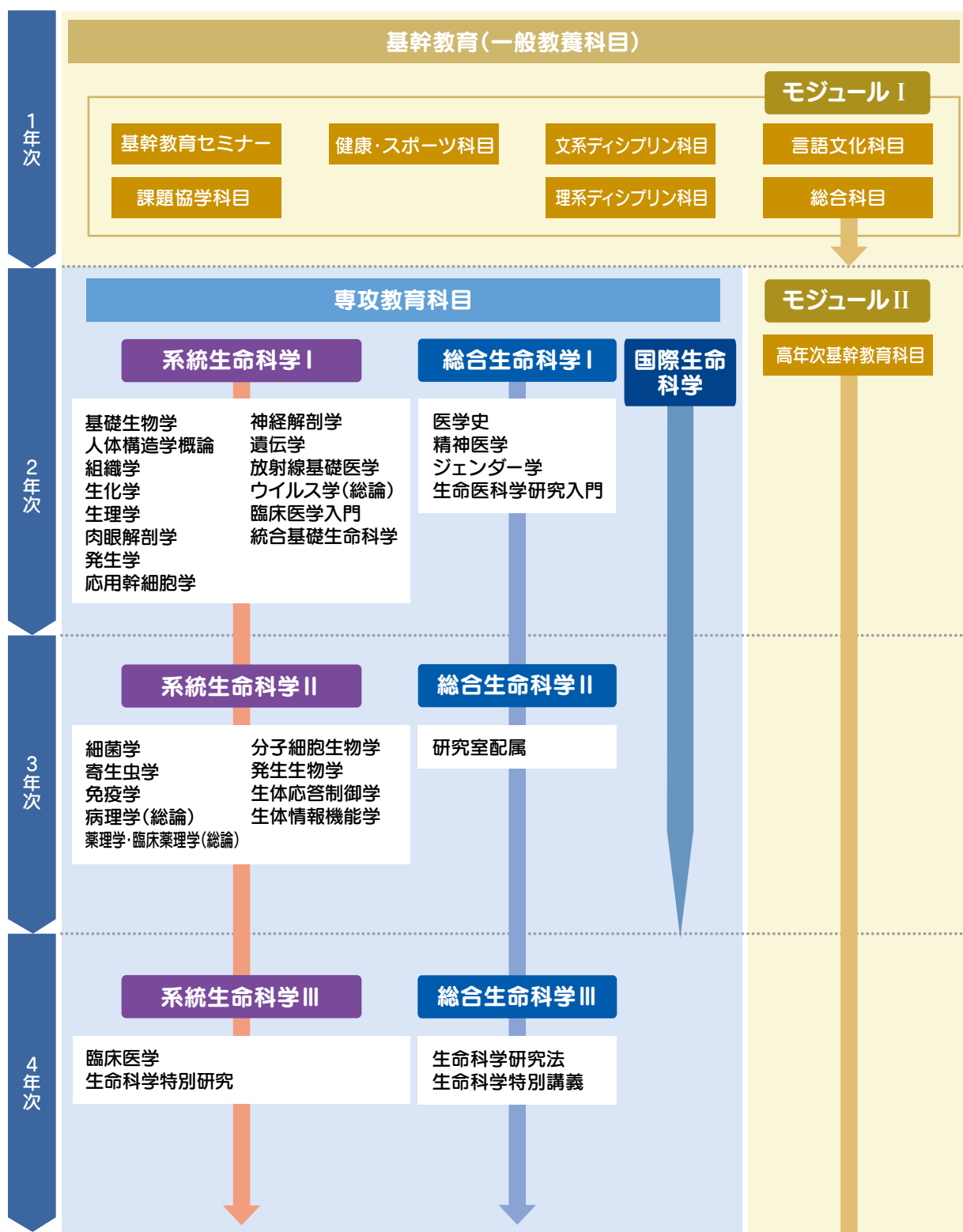
③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度:

ヒトおよびヒトに関係する生物が示す生命現象への興味、基礎医学研究への興味、多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する姿勢。周囲と協調して生命医科学研究を創造・発展しようとする意欲。

入学者選抜方法

	①知識・技能	②思考力・判断力・ 表現力などの能力	③主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期)	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査 個別面接	調査書 個別面接

カリキュラム



※ユニット名は変更になることがあります。

学 生 / Students

(1) 学生定員及び在籍学生数 Enrollment Limit and Present Number

医学部

School of Medicine

(令和2年5月1日現在)

As of May 1st, 2020

	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
医学科 Department of Medicine	定員 Enrollment Limit	110	111	111	111	111	111	665
	在籍学生数 Present Number	123 (22)	115 (23)	129 (28)	115 (14)	113 (18)	105 (15)	700 (120)
生命科学科 Department of Biomedical Science	定員 Enrollment Limit	12	12	12	12			48
	在籍学生数 Present Number	17 (6)	16 (9)	13 (10)	16 (8)			62 (33)
保健学科 Department of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	134	134	134	137			539
	在籍学生数 Present Number	140 (114)	141 (116)	139 (100)	150 (115)			570 (445)
合計 Total	定員 Enrollment Limit	256	257	257	260	111	111	1,252
	在籍学生数 Present Number	280	272	281	281	113	105	1,332

Figures in parentheses indicate the number of female students.

* ()内は女子で内数を示す。

大学院(修士課程)

Graduate School (Master's Course)

(令和2年5月1日現在)

As of May 1st, 2020

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医科学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	14	18	32
保健学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences, Department of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	27	27	54
	在籍学生数 Present Number	36	34	70
合計 Total	定員 Enrollment Limit	47	47	94
	在籍学生数 Present Number	50	52	102

大学院(専門職学位課程)

Graduate School (Master's Course)

(令和2年5月1日現在)

As of May 1st, 2020

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医療経営・管理学専攻 Health Care Administration and Management	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	18	23	41
合計 Total	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	18	23	41

大学院(博士課程)
Graduate School(Doctor's Course)

(令和2年5月1日現在)
As of May 1st, 2020

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
医学専攻 Department of Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	107	107	107	107	428
	在籍学生数 Present Number	108	127	123	199	557
保健学専攻 Doctor Course in Graduate School of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	10	10	10	—	30
	在籍学生数 Present Number	5	9	27	—	41
合計 Total	定員 Enrollment Limit	117	117	117	107	458
	在籍学生数 Present Number	113	136	150	199	598

*平成20年4月より1専攻化 *保健学専攻は博士後期課程

(2) 学部卒業生数 Number of Graduates

(令和2年5月1日現在)
As of May 1st, 2020

	平成 29年度 2017	平成 30年度 2018	令和 元年度 2019	平成3年7月1日 以降の卒業生数 (累計) Total (1991.7.1~2020.3.31)	
医学科 Department of Medicine	100	123	112	3,024	
生命科学科 Department of Biomedical Science	11	8	9	120	
保健学科 Department of Health Sciences	看護学専攻 Nursing Course	65	69	70	987
	放射線技術科学専攻 Radiological Sciences Course	29	39	24	475
	検査技術科学専攻 Medical Technology Course	36	35	33	494
	小計 Total	130	143	127	1,956
計 Total	241	274	248	5,100	

*医学部保健学科は、平成14年10月に九州大学医療技術短期大学部を改組して設置。第1回卒業生は平成19年3月。
Department of Health Sciences was founded in Oct. 2002. The first graduating class was in March, 2007

医学部(医学士)卒業生 学部(旧制)累計 ————— 4,766名
School of Medicine(Old system)
学部(新制 昭和24年以降入学~平成3年6月30日卒業)累計 3,858名
School of Medicine(New system 1949~1991.6.30)
医学専門部累計 ————— 838名
Medical College

令和3年度入学者選抜の基本方針(入学要件、選抜方式、配点等)

入学定員:12名 一般入試(前期日程12名)

(1) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程

	国語	地理・歴史	公民	数学	理科	外国語	面接	計
大学入学共通テスト	100	50		100	100	100	—	450
個別学力検査	—	—		250	250	200	100	800
計	100	50		350	350	300	100	1,250

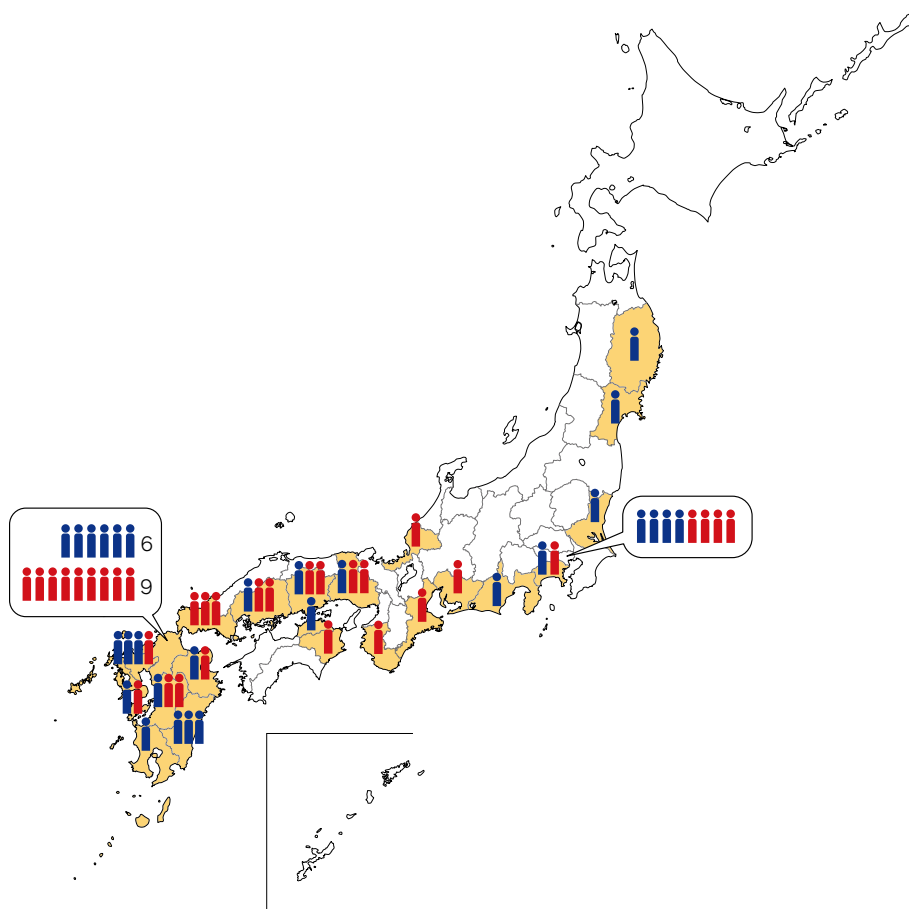
(2) 個別学力検査実施教科・科目等

前期日程

	数学	理科	外国語	面接
科目	数学 I 数学 II 数学 III 数学 A 数学 B 5科目	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 2科目選択	英語 コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ ドイツ語 フランス語 1科目選択	
配点	250(150分)	250(150分)	200(120分)	100

出身高校所在地別 在学生の分布

生命科学科在学生の出身地は、下図に示すように小さいながらも日本中から学生が集まる学科です。全国各地から集まった仲間達と共に学ぶ中で、人間性をより豊かなものにする新しい出会いが待っています。



		1年生		2年生		3年生		4年生	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全体		11	6	7	9	3	10	8	8
東北	岩手							1	
	宮城							1	
関東	茨城	1							
	東京	1		2	1		1	1	2
	神奈川			1	1				
中部	福井						1		
	静岡					1			
	愛知						1		
	三重		1						
近畿	兵庫			1			1		1
	和歌山		1						
中国	岡山			1			1		1
	広島	1			1		1		
	山口				2		1		
四国	徳島		1						
	香川	1							
九州	福岡	2	2	1	3	1		2	4
	佐賀	2		1			1		
	長崎						1	1	
	熊本		1				1	1	
	大分				1	1			
	宮崎	2						1	
	鹿児島	1							

キャンパスカレンダー

4月

入学式
新入生歓迎合宿
新入生オリエンテーション



新入生オリエンテーション(第13期生)

入学式

5月

教職員との懇親会

6月

前期研究室配属 (3年)



教職員との懇親会

7月

8月

夏期休暇
オープンキャンパス



研究室配属

9月

10月

国際生命科学Ⅱ：
英語によるポスター発表 (3年)
後期研究室配属 (3年)



国際生命科学Ⅱ：英語によるポスター発表

11月

九大祭



九大祭

12月

1月

2月

卒業研究発表会 (4年)

3月

卒業式 (4年)



卒業式



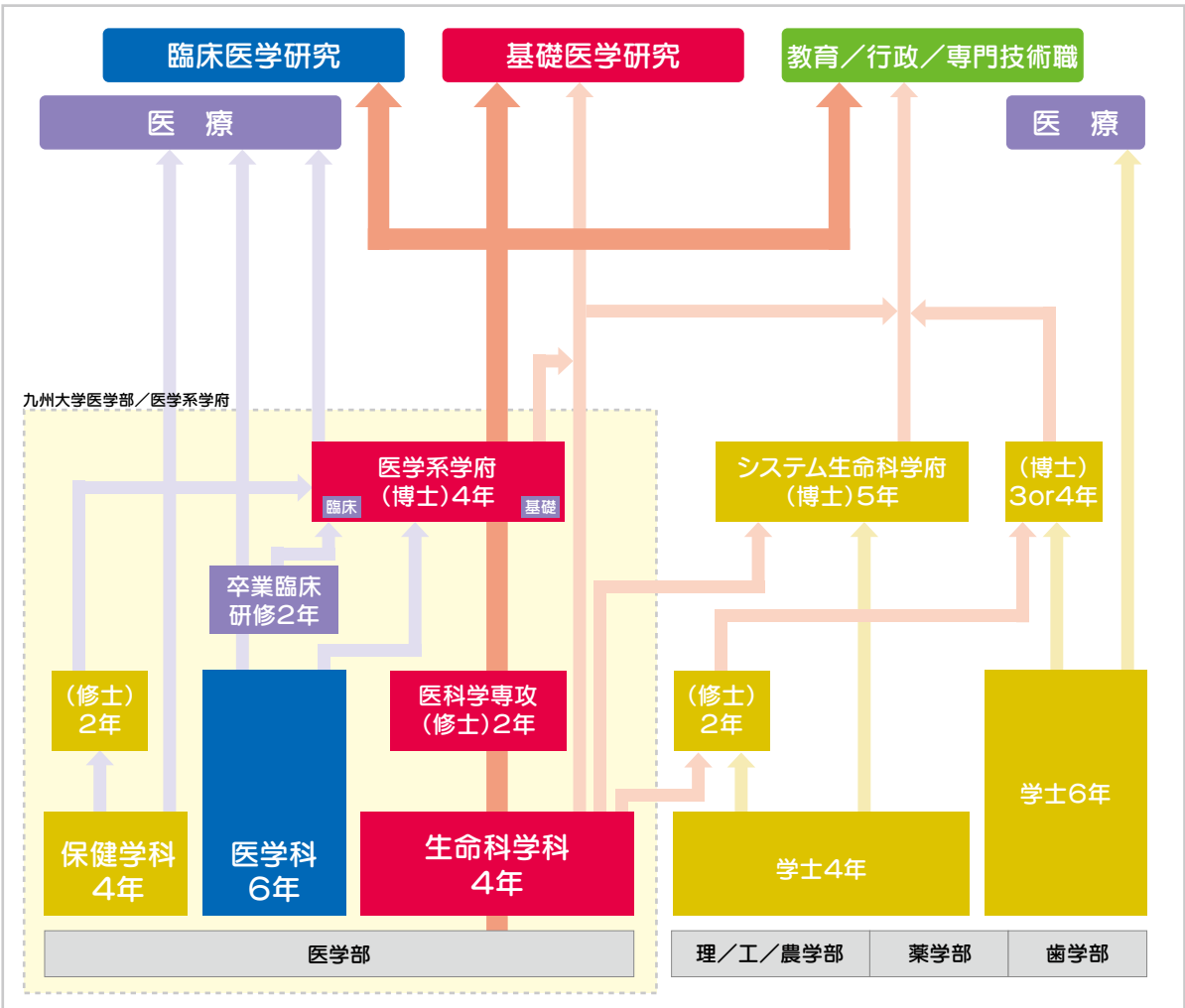
卒業研究発表会

卒業生の進路

生命科学科の卒業生の多くは、本学科で経験した研究室での研究を発展するべく、大学院修士課程に進学しています。

進路	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月
九州大学大学院医学系学府	7	11	7	4	4
九州大学大学院システム生命科学府	1	2		1	1
他大学大学院		3		3	3
その他（就職等）	2	1	4		1

進路の系統図



**岩本 昌和**（令和2年3月卒業）

令和2年3月に卒業した岩本と申します。現在、私は九州大学大学院の修士課程で日々研究に取り組んでいます。私は高校生の頃に、感情がどのように生まれるのかということに疑問を感じ、ヒトの脳について知りたいと思いました。そして、九州大学医学部生命科学科ではヒトについて体系的に学ぶことができるということを知り、入学しました。今回は私の4年間の体験をもとに生命科学科のよかった点と、志望校選択にあたっての注意点を述べます。

生命科学科でよかった点は医学科と同じ内容を学べること、そしてカリキュラムに研究室訪問が含まれていたことです。医学科と同じ内容を学べるため、ヒトの身体について正常時の機能だけでなく、その破綻により生じる病気、感染症など、幅広く学ぶことができました。もちろんテストは大変でしたが、テスト前に友人と助け合って勉強し、テストを乗り越えたときの達成感はとても嬉しかったです。ただ、私は専門科目で学んだ教科それぞれに興味を惹かれる内容があったため、研究室を選ぶとき、どの研究分野に進むか決めることができなくなりました。そうした私にとって、3年後期の研究室訪問は貴重なものでした。1ヶ月ごとに興味のある研究室を体験していく中で、自分が本当に知りたいことは何かということを考える貴重な経験になりました。

一方で、生命科学科の受験を考えている方への注意点として、医学科と違い、医学を学んだことを証明する免許が取れないということです。そのため、「医師になりたかったけど、共通テストで失敗したから」というような人には、本学科をおすすめできません。しかし少しでも生命科学研究、もしくはヒトの生物学について学びたい方にはうってつけの環境だと思います。このパンフレットを読んでいるみなさんは、少しでも研究に興味のある方だと思います。九州大学医学部生命科学科受験生向けサイト(www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/)の方には、そもそも基礎医学研究とは何か、研究者のキャリアパスなどの情報が載っています。漠然と研究者になりたいと思っている人にとって、研究者のイメージをつかむ参考になると思います。大学での専攻は少なくとも4年間学ぶことになります。この4年間で新たな情報に出会い、興味が変わることは大いにありえます。しかし、進路選択を後悔することのないよう、ある程度調べ、考えたうえで選択して頂ければと思います。この文章がみなさんの進路選択の一助になれば幸いです。

**3年 河原 真代**

今回、生命科学科のパンフレットの文章を書く機会をいただいたので、この学科を志望した理由と、この学科の特徴について少し紹介したいと思います。

私がこの学科を志望したのは、高校1～2年生の時に地元の大学で行われていたグローバルサイエンスキャンパスに参加して、医学研究に興味を持ったことがきっかけです。それまでは、漠然と理系の大学に進もうという気持ちしかなかったのですが、そのプログラムに参加して医学の講義を受け、短い期間ですが研究に携わったりすることで、医学研究に強く興味を持ち、もっと高いレベルで学びたいと思うようになりました。そこで、医学研究に重点を置いている九州大学の生命科学科を志望しました。

生命科学科は、他の大学にもありますが、医学部の学科は九州大学と鳥取大学にしかなく、九州大学では特にヒトに焦点を当てて学ぶことができます。また、少人数制の学科のため、同じ高い志を持つ仲間と出会えることができ、縦のつながりも強く先輩方から研究室のことや勉強のことなどのお話を聞くこともできます。この学科は、3年生の前期までは、医学科とほとんど同じカリキュラムで授業が進みます。そのため、勉強が大変な時期もありますが、医学研究を目指すのであれば、医学について深く学べるという点で大きなメリットだと思います。

ヒトの体の仕組みに興味がある人、医学研究をしたいと考えている人は、ぜひ生命科学科を選択肢の一つとして考えてもらえるとうれしいです。強い思いを持って入学してくる皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。



2年 山本 溪一

今回、このパンフレットのメッセージを書く機会をいただいたので、私が生命科学科を志望した理由と、生命科学科の特徴・一年次のことについて紹介します。

私が生命科学科に入った理由は、高校で学んだ免疫機構のシステマチックなところに興味を持ち、生命の仕組みについてさらに深く知りたいと思ったからです。大学選びでは、生命科学科と理学部生物学科で悩みました。私の最終的な決め手は、生命科学科は“ヒト”について特化して学べることでした。また、理学部では生命の正常な時のしくみしか学べませんが、ここでは異常な状態にある生命

についても学ぶことができます。多くの研究室があり、素晴らしい先生方がそろっていることで、自分の興味のある分野を深められると思いました。また、先日、学科長が二年生に興味のある分野を聞いたとき、一人一人が自分の答えを述べていました。普段から、お互いどのようなことに興味があるのか、将来はどうしたいのかなど、友達同士で話す機会があります。周りには仲間は、しっかりと目標をもって入ってきているので、切磋琢磨するにはとても良い環境だと思います。

また、一年次の授業は医学関連の授業はありませんが、興味深く、考えを新たにできる授業がいくつもあります。例えば、基幹物理学や基礎化学結合論では高校の内容からさらに踏み込んで、これまで考えなかったような力学の法則や結合の仕組みを学びます。実験では、実際に器具を使って自分でもろもろの作業をし、結果を出していきます。これまでよりも高度で、実践的な内容が詰まっています。さらに、一年次はアルバイトやサークル活動、一人暮らしなど、これまで経験しなかった多くのことに触れる機会があり、とても充実していました。

最後に、少人数でマイナーなこの学科を志望することは、とても勇気のいることだと思います(私がそうでした)。しかし、入ってみるととても面白く、充実しています。自分のしたいこととしっかり向き合って、生命科学科を選んでくれたらうれしいです。



2年 栗田 夏海

今回、高校生に向けてメッセージを書く機会をいただいたので、私が生命科学科を志望した理由とこの学科の特徴などを紹介したいと思います。

私が中学生から高校生だった頃に、ちょうど日本人のノーベル生理学・医学賞受賞が続き、それがきっかけとなって彼らのように、今まで治療が困難だった病気を治療可能にできるような研究をしたいと思うようになりました。進路決定の際、将来研究の道へ進むことを目標とすると、理学部や薬学部などいろいろな選択肢が浮かびましたが、人間の医学に関連した研究をしたいと思って

いた私は、医学も学びつつ、研究するのに必要な知識や技術を学ぶことができる九州大学医学部生命科学科を志望しました。

この学科の特徴として、他大学の生命科学科とは異なり医学部の学科であることが挙げられます。3年生前期までは医学科の学生と一緒に基礎医学の講義を受けます。実際に私は生理学や組織学の講義の中で、各臓器の機能や構造など複雑で難しい反面、医学研究をする際に必ず役に立つであろう内容を毎日学んでいます。生命科学科ではそういった専門的な医学の知識を得られるので、将来医学の研究をする際には大きなアドバンテージになると考えられます。

他にも特徴として、生命科学科には医学や研究に興味のある人が入学してきます。それぞれ、医学の中でも免疫や発生など興味のある分野は様々ですが、医学や研究について語り合えるのはこの学科だからこそできることだと思います。人数も1学年十数人と少ないため、とても仲良くなれます。また懇親会などに参加すると、ひとつ上の先輩から博士課程で研究をされている卒業生まで幅広く交流することができ、勉強のことや進路についてたくさんのアドバイスを受けることができます。このように少人数の学科だからこそ、学科全体のつながりが強く、将来同じ方向に進む仲間を多く得られるという利点があります。

最後に、研究者には研究を心から楽しいと思える気持ちが必要だと思います。本当に興味のある内容でないと、長期間を要する研究に取り組むことはできないでしょう。その点、医学や研究に興味を持っている人にとってこの学科は最適な環境だと言えます。実際に私は、医学の勉強は難しく大変ですが、興味のある内容なので楽しく学んでいます。将来、医学研究者を目指す方はぜひ生命科学科を進路先の候補として考えてみてください。

建物配置図 CAMPUS MAP



⑩ ナイチンゲール誓詞の碑



⑩ 郭沫若先生顕彰碑



⑪ ヒポクラテスの木



⑦ 釜掛の松



⑧ 長塚節逝去の地



⑨ 九大生協食堂



⑫ 医学図書館



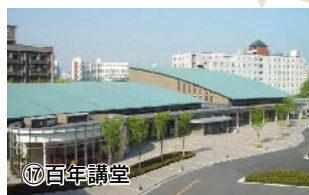
⑬ 医学部正門



⑭ 医学部75周年記念庭園



⑮ 神の手



⑰ 百年講堂

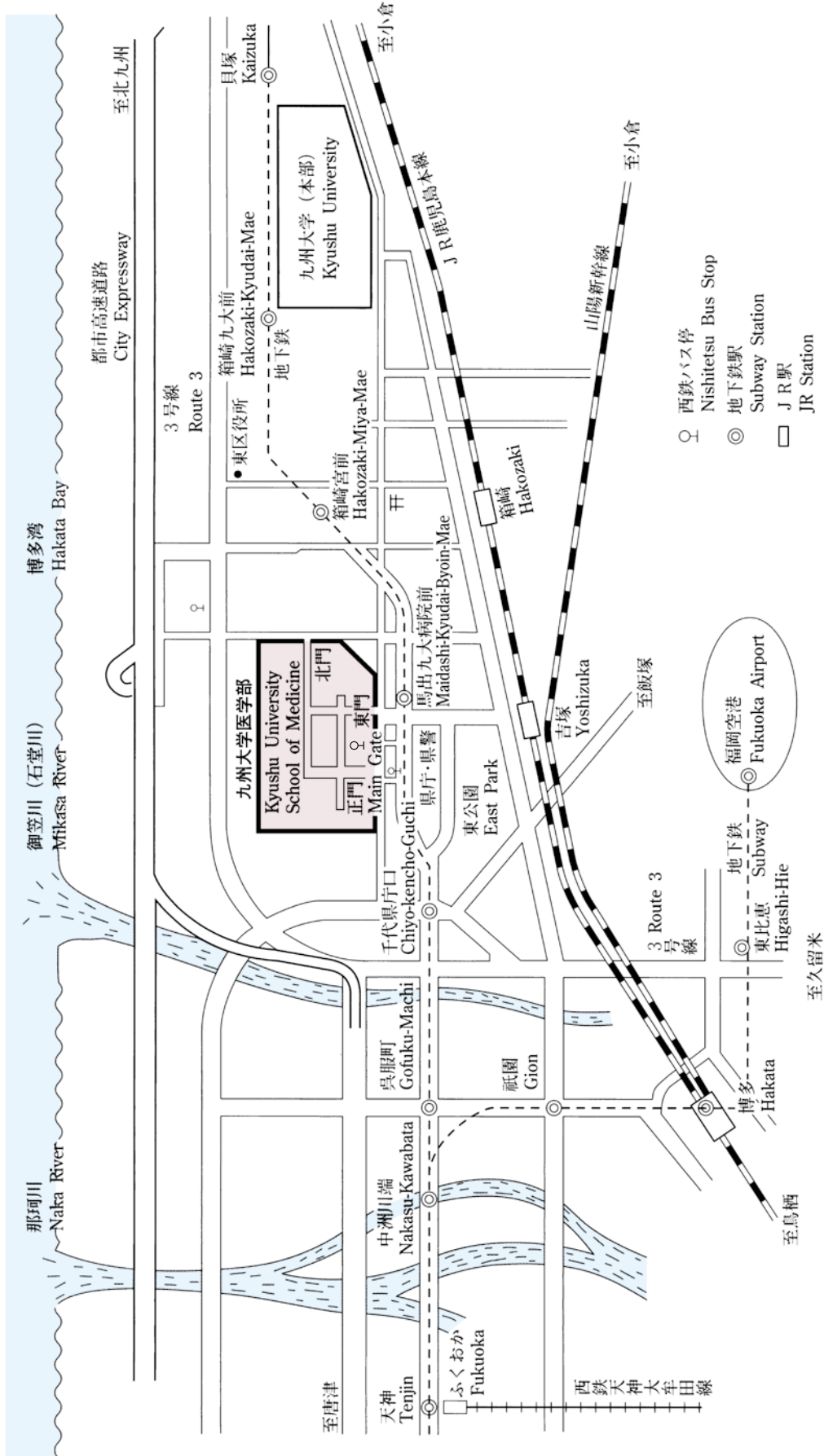


⑯ 慰霊塔「崇高な精神」

所在地略図 AREA MAP

医学部医学科、生命科学科

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号 ☎092-642-6020 FAX. 092-642-6189
 3-1-1 Maidashi, Higashi-ku, Fukuoka City 812-8582 http://www.med.kyushu-u.ac.jp/



○ 博多駅から地下鉄（中洲川端駅で乗り替え）で約10分

Subway service from Hakata Station to Maidaishi-Kyudai-Byoin-Mae is a 10 minute ride, but, necessary to change trains at Nakasu-Kawabata on the way

○ 博多駅から西鉄バス（系統番号10番九大前又は吉塚営業所行き）で約15分

Nishitetsu bus service, No.10 Kyudai-Mae or Yoshizuka-Eigyosho-Yuki, from Hakata Station to Kencho-Kyudai-Mae is a 15 minute ride

○ 福岡空港からタクシーで約20分

20 minute taxi ride from Fukuoka Airport

○ 福岡インターチェンジから約20分

20 minute car ride from Fukuoka Interchange



九州大学医学部生命科学科ホームページ
<http://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/>



受験生向けサイト
<http://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/index.html>



Kyushu University
School of Medicine
Department of Medicine